

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 経皮電気刺激による感覚編集インタフェースの構築

2. 個人研究者名

青山 一真（東京大学先端科学技術研究センター 特任講師）

3. 事後評価結果

本研究では、末梢神経系への経皮電気刺激を利用した多感覚の「提示・増強・減衰」が可能な「感覚編集インタフェース」の構築を目的としている。具体的には、感覚の提示は我々が日常的に感じる感覚を作り出すこと、増強は普段感じている感覚を強めたり、普段決して感じる事ができない感覚を作り出すこと、減衰は普段感じている感覚を弱めることを可能にした。

結果として、多種多様な感覚に対して電気刺激を適用し、一つの新しい分野を作りあげたことは高く評価できる。また、直接的な嗅覚や味覚に対する電氣的制御の可能性を示せた意義は大きい。

今後の課題としては、刺激の質を制御する検討を進めてほしい。